

第73次印旛地区教育研究集会

(社会科教育・中学校)

生徒が自身の変容を実感できる授業をめざして
～ OPPA とパフォーマンス課題による実践～

はじめに

今日、飛躍的に進化をしていく人工知能。特に高度な技術で人間のように自然な会話ができる Chat GPT などその進歩はめざましい。その大きな変化を遂げていく現代に暮らす今の子どもたちは、便利な生活を手に入れる反面、言語活動の重要性を軽視する傾向がみられる。

そこで「言語活動の充実」「対話的な学び」という視点から、過去2年にわたり積み重ねてきたOPPAを活用し、自分の変容を記録し、それを振り返り自己評価をする授業を中心に取り組み、そこから自分の言葉で伝える、情報発信の力を身につけさせたいと考える。

本発表は今年度3年生となった生徒に対し、過去2年間に積み重ねられた実践と、それを引き継ぎ4月から取り組んできた授業実践の報告である。

令和4年度末人事異動で、昨年度まで本校に勤務していた社会科教員が、すべて異動してしまった中での発表となるが、過去に取り組んでいた実績と、今年度生徒と共に歩んできた拙い取り組みを、短い時間ではあるが発表させていただきたいと思う。

1 研究主題

生徒が自身の変容を実感できる授業をめざして
～ OPPIA とパフォーマンス課題による実践～

2 主題設定の理由

(1) 学習指導要領から

「第1章 総説」の「2 社会科改訂の趣旨」に、「(2) 言語活動の充実」として「社会科学習では、現行の学習指導要領においても様々な資料を適切に収集し、活用して事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、適切に表現する能力と態度を育てることを各分野共通の目標としている」とある。続いて「3 社会科改訂の要点」では「言語活動の充実の観点から、社会的事象の意味、意義を解釈する学習や、事象の特色や事象間の関連を説明する学習などを通して、社会的な見方や考え方を養うことを一層重視した」とある。

これらのことから「学習したことを自分のものとして使えるようにする」ために、学習者が学習履歴を文字化して、自己の変容を実感することで思考力・判断力・表現力の育成につながると考え、研究主題を設定した。

(2) 印教研研究主題より

よりよい社会の実現に寄与する「生きる力」を培う社会科学習
～自ら課題を見だし、自分の考えを表現できる児童生徒の育成を目指して～

印教研社会科研究部の主題に『「生きる力」を培う』『自ら課題を見だし、自分の考えを表現できる』とある。

自分の考えや意見をしっかりと表現（記述・発信）することは、今の時代を生きていくうえでとても大切な力と言える。先にも述べたように、今の子どもたちはパソコンやSNSに頼り過ぎ、自分の言葉で発信する機会が少なくなっている。

また、LINEなどでは簡単に他者とやりとりができるが、実際に対面での情報交換などは苦手な子どももいる。授業でも正答や自分の考えをもっている子どもはいるが、それを発信することができない子どもが各クラスに少なからず存在する。

自信をもって発信するためには、まず自分の考えをまとめ、他者と共有・確認することで、自信が付き発信に繋がっていくと考えた。そのため、発信の前に考えを整理し自分の言葉でまとめる力を身につけさせたいと考えた。

(3) 本校の実態から

学校規模としては、3学年78名2学級、2学年62名2学級、1学年87名3学級の小規模校である。小規模校である利点は、各学年同じ教員が授業を受け持つことができ、学年で同じ取り組みを行うことができることである。

しかし、課題点としては多くの生徒の中で切磋琢磨して学習内容を探求していくことであろうと思われる。

現3年生が、1年生の時から様々な取り組みを行ってきた。それは、中学校入学当時に、社会科の学習への意識として、「暗記科目である」とか「覚えておけば大丈夫」などという発言を聞いたことがある。社会科に対して、少なからずどの学校でも

そのような生徒は多い。資料編の1年次の意識調査にあるように、社会科に対して「好き」という生徒、「嫌い」という生徒と大きく分かれた。「社会科の授業を通してどんな力をつけたいか」については「先生が説明してくれたことをメモする。そうすればテストもスラスラ書けるはず」という内容の者が目立った。

しかし、教員が授業で力を入れたところを「暗記」すれば、テストで良い点をとれるという考え方では、学習指導要領の内容や印教研研究主題の「よりよい社会の実現に寄与する『生きる力』を培う社会科学習 ～自ら課題を見出し、自分の考えを表現できる児童生徒の育成を目指して～」につながることはない。

そこで「学習したことを自分のものとして使えるようにする」ことを目指して、パワーポイントやNHKの教材の視聴など視聴覚教材の活用、タブレット学習による調べ学習、また話し合い活動を通して「社会科の課題を探求する」場面を意図的に増やして授業を構成し指導を進めてきた。

(参考) 1年次の話し合い活動

4名ほどのグループで活動



3 研究仮説

単元ごとに、自らの変容を記録することを積み重ね、併せてその記録を他者と共有・評価を受けることにより、自信をもって自分の考えを発信する力が身についていこう

自らの考えを積極的に発信することが苦手な子どもは存在する。その理由はいくつか考えられるが、その一つとして自信がないという理由が考えられる。授業中、いくら「教室は間違えるところだ。」と言っても、子どもにしてみると「みんなの前で間違える」のは恥ずかしいと思うし、勇気のいることだと考える。

そこで、まず学習前に提示された学習課題に対し、各自の疑問や見通しをシートに記入する。そして学習中は学習課題・疑問に対する「気づき」を見だし、学習後は課題に対する自分の考えをまとめ、記入および他者との共有・確認をする授業に取り組んだ。

これにより、自分の考えを周りと共有することで、自信をもって発信できる環境をつくっていけば、情報発信能力が培われると考えた。OPPAによる自己の振り返りとパフォーマンス課題による他者評価を組み合わせることで、学習者の表現力を向上できると考えた。

4 研究実践

(1) OPPA

OPPAとはOne Page Portfolio Assessmentのことである。具体的には「1枚の用紙の中に学習前・中・後の履歴として記録し、その全体を学習者自身が自己評価する方法」である。「学習の始めにおいては、学習前・後の「単元を貫く本質的な問い」、毎授業時間後に「授業の一番大切なこと」を記録する学習履歴、および学習全体を振り返る自己評価という枠組み」が1枚の用紙に設けられている。学習者が自分の言葉で学習履歴を記していくことで、自分の気づきや単元の学習前と学習後の変容を可視化することができる。

○1 年次の問いの例

歴史	日本列島では、どのように国がつくられていったのだろう。
歴史	古代の東アジアで、日本は生き残るために、どのような工夫をしたのだろう。
地理	アジア州は、なぜ急速に経済が成長し、注目されてきているのだろう。
地理	ヨーロッパ統合には、どのようなメリットやデメリットがあるのだろう。
地理	なぜアメリカは世界中に影響を与えることができるのだろう。
地理	南アメリカの開発と環境保護は両立ができるのだろうか。
地理	オセアニア州では、なぜアジア州との結び付きが強くなってきたのだろう。
地理	九州地方では、自然環境の影響が大きい中で、どのように産業や生活、文化が発達してきたのだろう。
地理	中国・四国地方での交通網の発達は、地域社会にどのような影響を与えるのだろう。

○2年次の問いの例

地理	近畿地方の都市や農村はどのように変化し、どのような課題解決への取り組みが行われているのだろう。
地理	なぜ中部地方には、各分野で生産額第1位の県が数多くあるのだろう。
地理	今後も東京大都市圏は誰もが安心して暮らせる住みやすさを維持できるか。この主題を考えるうえでの現状の課題は何か。
地理	東北地方では、なぜ伝統的な生活や文化を継承する動きが見られるのだろう。
地理	北海道地方の人々は、自然環境や社会の変化にどのように適応してきたのだろう。
歴史	なぜ欧米は世界に先がけて発展したのだろう。
歴史	欧米の近代化のどこに明治時代の日本は魅力を感じたのだろう。
歴史	なぜ鉄砲とキリスト教は日本へ伝わり、広がっていったのだろう。
歴史	なぜ江戸幕府は約260年もの長い期間続いたのだろう。
歴史	なぜ町人が文化の担い手となったのだろう。
歴史	そして、なぜ幕府は度重なる改革をせまられたのだろう。
歴史	欧米とアジアとの関係が変化する中で、なぜ江戸幕府は滅んだのだろう。
歴史	なぜ日本では他のアジア諸国に先がけて、近代化が進んだのだろう。
歴史	2つの戦争（日清戦争・日露戦争）は、日本の近代化・発展の物語として考えてよいのか。

(2) パフォーマンス課題

「リアルな文脈の中で知識やスキルを使いこなすことを求める課題（特定課題）のこと」と定義されている。単元の終了後に記述させるために「パフォーマンス課題の根幹は単元を貫く問い」ということになる。

○1 年次の問いの例

地理	新工場建設に向け提案書をつくろう！
地理	EUとイギリスのこれから
地理	君はアフリカ未来請負人
地理	どうなる！？ アメリカの未来とこれからの世界情勢！
地理	よりよいブラジルの在り方とは…
地理	日豪の架け橋に…
地理	馬路村の地域おこし成功の秘密を探れ！
歴史	幕府はどうするべきか！ 一日米修好通商条約—
歴史	日清・日露戦争の是非を問う

(参考) 1年次の調べ学習

タブレットで調べて用紙に記入



5 仮説の検証

2年次の意識調査に「社会科の授業を通して、どんな力を身につけたいか」という項目を設けた。

それに対する生徒の反応は「説明（記述）する力（を身につけたい）」、「書くときは書く」、「考えて書く問題を解ける力をつけたい」、「自分の意見をしっかり相手に伝える力」、「周りの人と話し合い、理解力を深める」などの回答が見られた。

このことは1年間「書く」という作業や話し合い活動を繰り返し行ってきたことで「書くこと」、「話すこと」に対する基本的な「違和感」や「苦手意識」を乗り越え、いっそう自分の力を高めていきたいという現れであるととらえられ、研究仮説で目指した「自らの変容を記録することを積み重ね」ることで「自信を持つ」という段階を達成したことがうかがわれる。

また、研究仮説の「自分の考えを発信する力を身につける」という段階についても、「ひとつのことを、いろいろな所から見られる視点」、「ものごとを、まとめてつなげる力」、「発表を積極的にしていく力」、「情報を整理したり、取捨選択して、答えを導き出せるような力」、「学んだことをいかす力」、「自分の考えをまとめたり説明する力」などを身につけたいという回答があり、基本的な「書く」、「記述する」という作業を、さらに高めていきたいという意欲がうかがわれる。

さらに研究仮説全体に対しても、「課題に対して前回の授業と関連付けて、自分で答えを導く力」、「自分の意見を理由を含めて聞いてくれる人にわかりやすく伝える力」を身につけたい、と回答する者も存在した。

以上のことから、研究仮説で生徒に身につけさせたいと目指したことが、達成されつつあると感じた。

6 研究の成果と課題

OPPA やパフォーマンス課題を活用して年単位で継続的に実践を重ねていくことで、学習者は自分の言葉で文章表現することに慣れていき、3年次の歴史のレポートでは分量のある文章を書くことができるようになっている。

OPPA により1つの単元で学習前・中・後、毎時間の一番大切だと思うことを記入し、自分の考えを文章で記すことに力を入れた。そこで記した材料を基にパフォーマンス課題に取り組み、話し合い活動でも、だんだんと自分の言葉で発言でき、暗記だけでなく「考える」ということへの変化がみられてきた。

それらを承けて、3年次の歴史の授業で「大正デモクラシーは、戦後の民主主義につながるか？」というレポートを課題としてみた。このテーマは歴史の流れをとらえながら、民主主義とはなにかをその時代時代において、どうとらえているかを考えることが必要である。

その結果、各自が歴史的事項を入れて考えをまとめることができるようになった。このことは1年次からOPPAやパフォーマンス課題に取り組むことでトレーニングされた生徒が、3年次に教科担任が変わってもそれまでの一連の作業として取り組めた成果ともいえる。

今回の報告では、過去の実践がデータの形で残されていたことが幸いしたが、担当者が入れ替わった際に、同じ実践をどこまで継続できるのかについては、今後の課題であると感じた。

おわりに

ICTの導入・活用により、めまぐるしく進化していく教育現場。その中で学校生活を送る子どもたち。今は携帯電話やタブレットが常に身近にあり、誰でも使いこなすことができる日常がある。いつでもどこでも（学校では無理だが）他者とネットワーク上で繋がることができる。

ただ、その繋がりは携帯電話やパソコンを使っているものであり、直接「顔を見て」話したり伝えたりするものではない。今後の世の中の発展は想像もつかないが、やはり「気持ちを伝える」には対面、人と人が直接考えや意見を伝え合うことが大切だと考える。

今回の取り組みでは、情報発信能力の育成にOPPAを活用し、まず「書くこと」に重点を置いた。語学の4技能は「聞く・読む・話す・書く」であるが、「聞く・読む」というインプットは比較的授業でも取り組みやすいが、「話す・書く」というアウトプット型の学習は、教師の工夫やより高度なスキルが必要となってくる。今後ICT機器の活用がより進んでいけば、「話す・書く」といったアウトプット型の指導がよりスムーズに進めていけるだろう。

この発表では最初の「書く」ことを中心に進めてきたが、この取り組みが定着しつつある現在、次のステップである「話す＝発信する」段階に進んでいきたいと考えている。

今年度の発表は、年度末異動により発表者の授業に取り組む時数が限られたが、過去2年間研究を進めていただいた先生方の実践を基礎として、「情報発信能力の育成」にさらに努めていきたいと思う。

参考文献

- ・堀 哲夫「新訂 一枚ポートフォリオ評価 OPPA 一枚の用紙の可能性」
2019年 東洋館出版社
- ・七里広志「思考ツール×パフォーマンス課題でつくる中学校社会科授業」
2022年 明治図書
- ・中野英水「パフォーマンス課題を位置づけた中学校社会の単元&授業モデル」
2019年 明治図書



豐采集

1年次の意識調査

月まで

1年 2組 12番 氏名

①



① 社会科は (好き・どちらかというが好き・どちらかという嫌い・嫌い)

理由

調べる時間が好き。

(小學校では、「〇ページから〇ページを読んで〇分で自分なりにまとめ」をやってきた。(時間内にまとめられたか)
ノートに

② 社会科の授業を通してどんな力をつけたいか。(①の課題)

・ていねいにまとめる力(ノート力)

・時間内に (情報を整理)

・先生の話したことの大事なことをメモする力(脳をフル回転)



③ どのような意識で授業を受けていきたいか。学習に取り組んでいくか。(②の解決策)

ていねいに早く、必要な情報だけを書く。

・脳をフル回転させて、先生の話をよくききながらメモする力をつける。

1年 3組 2番 氏名

②

① 社会科は (好き ・ どちらかという好き ・ どちらかという嫌い ・ 嫌い)

理由

私は小学生時代、日本史が得意でした。けどそれ以外は苦手です。歴史は中学になるとレベルがあがると思うので心配です。国の配置や首都は得意ですけど、伝統系は私は無利です。

② 社会科の授業を通してどんな力をつけたいか。

先生が説明してくださった、源頼朝はなにをやった？というレベル(ふつうよりレベルアップしているやつです。)の質問とスラスラ答えられる力をつけたいです。そうしたら、テストもスラスラ書けるはず？



③ どのような意識で授業を受けていきたいか。学習に取り組んでいくか。

先生が言った豆知識なども、なるべくノートにまとめて、疑問に思ったことはちゃんとメモをして、改善できるようにしたいです。
姿勢を正しく、手を動かし、身と先生、みんなにかたむけて、授業に取り組みたいです。

1年 2組 4番 氏名 ③

① 社会科は (好き) ・ どちらかというとき ・ どちらかというとき嫌い ・ 嫌い

理由

矢人の生き方や今の日本や世界がどの国に似ててきたのかを知りたい。

② 社会科の授業を通してどんな力をつけたいか。

これからの日本を良くするためにいろいろな人の
の生き方を知る



③ どのような意識で授業を受けていきたいか。学習に取り組んでいくか。

先生の話をよく聞きいろいろな
知識を深めていきたい

1 年 2 組 / 番 氏名

④

① 社会科は (好き ・ どちらかという人喜欢い ・ どちらかというと嫌い ・ (嫌い))

理由

暗記ができない
覚えられない

② 社会科の授業を通してどんな力をつけたいか。

知識を知りたい



③ どのような意識で授業を受けていきたいか。学習に取り組んでいくか。

社会科の授業は嫌いだから少しでも好きになれるようにする。
家でも1-1とまとめたりアプリで復習をする。

第2章 世界の諸地域 第2節 ヨーロッパ州 ~国どうしの統合による変化~ 教p74~87

◎ ヨーロッパ統合にはどのようなメリットやデメリットがあるのだろうか。

【学習前】 記入日 11月11日



<p>・赤字 (赤字)</p>	<p>1991年、ヨーロッパの国々 が協定を結ぶ。EUの前身である EECの前身であるECSCの前身である ECSCの前身であるECSCの前身である</p>	<p>疑問に思ったことや、わからない言葉等 ・EU、25ヶ国から17 ヶ国に減った。EUの前身 はECSC、EEC、ECSCの前身 はECSCの前身である</p>
<p>EU EUの前身</p>	<p>EUの前身はECSC、EEC、ECSCの前身 はECSCの前身である</p>	<p>疑問に思ったことや、わからない言葉等 ・EU、25ヶ国から17 ヶ国に減った。EUの前身 はECSC、EEC、ECSCの前身 はECSCの前身である</p>
<p>EUの前身 EUの前身</p>	<p>EUの前身はECSC、EEC、ECSCの前身 はECSCの前身である</p>	<p>疑問に思ったことや、わからない言葉等 ・EU、25ヶ国から17 ヶ国に減った。EUの前身 はECSC、EEC、ECSCの前身 はECSCの前身である</p>

【学習後】 記入日 11月21日

<p>メリット ・国境の行き来が楽になった (パスポート検査がなくなった) ・国境がなくなった (国境がなくなった)</p>	<p>デメリット ・外国人労働者が来るようになった (特にEU圏) ・経済格差が広がった</p>	<p>学習前と後の内容を比べて 感じたことや思ったこと ・EU、25ヶ国から17ヶ国に減った ・国境がなくなった ・国境がなくなった</p>
--	--	--

1年次の地理 (OPPA)



<p>11月10日 タイトル</p> <p>「北の大地」の理由とは...?</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと <u>北の大地</u>と<u>標高</u>の関係</p> <p>＜重要＞<u>北の大地</u></p> <p>・スカイヒートパイプ ・ライオン ・北の大地</p> 	<p>11月12日 タイトル</p> <p>混合農業</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと <u>混合農業</u>と<u>耕作</u></p> <p>・酪農 ・稲作 ・果樹栽培 ・畜産</p> 	<p>11月16日 タイトル</p> <p>EUによる発展と課題</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと 1993 EU加盟</p> <p>・EU加盟 ・EU加盟 ・EU加盟</p> <p>・EU加盟 ・EU加盟 ・EU加盟</p>
<p>11月19日 タイトル</p> <p>強は問題への取り組みは地球への優しさ</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと 強は問題への取り組みは地球への優しさ</p> <p>・強は問題への取り組みは地球への優しさ ・強は問題への取り組みは地球への優しさ ・強は問題への取り組みは地球への優しさ</p>	<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>	<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>
<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>	<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>	<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>

第2章 世界の諸地域 第2節 ヨーロッパ州 ~国どうしの統合による変化~ 教p74~87

◎ ヨーロッパ統合にはどのようなメリットやデメリットがあるのだろう。

【学習前】 記入日 11月 9日

<p>国境がなくなり、国境を越えるのが楽だから、お金の移動も楽になる。 国境には強制的な入国審査がある国、国境がなくなる。 1. 国境がなくなる。 2. 国境がなくなる。</p>	<p>疑問に思ったことや、わからない言葉等 エンゲル、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ポルトガル、ギリシャ、オランダ、ベルギー、ルクセンブルグ、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ポルトガル、ギリシャ、オランダ、ベルギー、ルクセンブルグ。</p>
--	---

【学習後】 記入日 11月 15日

<p>メリット：国境がなくなる。国境を越えるのが楽だから、お金の移動も楽になる。 2. 国境がなくなる。国境がなくなる。 デメリット：各国の意見が反映されず、経済格差が拡大し、補助金を出さなければならぬ。各国の格差が増える。</p>	<p>学習前と後の内容を比べて 感じたことや思ったこと イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ポルトガル、ギリシャ、オランダ、ベルギー、ルクセンブルグ、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、ポルトガル、ギリシャ、オランダ、ベルギー、ルクセンブルグ。</p>
--	---



<p>11月 2日 タイトル ヨーロッパの自然環境と農業</p>	<p>11月 9日 タイトル EUとEU-ヨーロッパの農業</p>	<p>11月 10日 タイトル EUの統合と農業の発展</p>
<p>今回の授業で一番大切だと思うこと ① 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ② 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ③ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ④ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑤ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑥ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑦ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑧ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑨ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑩ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...?</p>	<p>今回の授業で一番大切だと思うこと ① 混合農業: 1/4のフランス ② 作物栽培の設備改善 ③ 作物栽培の設備改善 (シマ) ④ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑤ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑥ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑦ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑧ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑨ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑩ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...?</p>	<p>今回の授業で一番大切だと思うこと ① 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ② 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ③ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ④ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑤ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑥ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑦ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑧ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑨ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑩ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...?</p>
<p>11月 15日 タイトル EUの農業政策</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと ① 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ② 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ③ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ④ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑤ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑥ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑦ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑧ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑨ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...? ⑩ 農業政策の歴史 (1962年) はなぜ? ...?</p>	<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>	<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>
<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>	<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>	<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>

②

EUとイギリスのこれから

// 組 18 番 氏名 XXXXXXXXXX ①

2020年12月31日午後11時をもって、イギリスはEU規則に従うのをやめ、移動や貿易、移民や安全保障の協力関係などに関するEUとの新しい協定が施行された。2016年6月の国民投票で52%がEU離脱を支持し、ブレグジット（イギリスのEU離脱）を推進してきたボリス・ジョンソン英首相は、イギリスが「自由を手にした」と祝い、国民投票から1年半をかけて完了した離脱プロセスが終了した今、イギリスは「EUの友人たちとは違うやり方が自由を選ぶし、必要ならばもっと良いやり方ができるようになった」と強調した。しかし、2016年の国民投票では、48%がEU存続を支持していたことも忘れてはならない事実である。加えて、世代別と比較するとその考え方に偏りも見られる。

「イギリス国民が幸せであり続けるために、イギリスとEUはどのような関係であればよかったのか？」

加盟存続の場合と離脱した場合とを比較し、自分の考えを説明してください。

私は、イギリスはEUを（ 加盟存続 ・ 離脱 ）するべきだと思います。

加盟存続のメリット、EU規則に従うのをやめたことでイギリスは自由を手に入れた。しかし、EUからの経済的支援がなくなり、物価が上がる。また、EUからの観光客が減少し、観光業に打撃を与える。一方で、EUからの規制がなくなり、イギリス企業は競争力が高まる。また、EUからの移民が減少し、労働力不足が解消される。以上を総合的に考えると、私は加盟存続を支持するべきだと思います。

自己評価 → 他者評価

- ①根拠を明確にして意見を主張している (1 2 3 ④ 5)
- ②1つの視点だけでなく多角的な視点で考えられている (1 2 3 4 ⑤)
- ③相手に伝わるような表現になっている (1 2 3 ④ 5)

1:まったくあてはまらない 2:あまりあてはまらない 3:どちらともいえない 4:やや当てはまる 5:よく当てはまる

第2章 古代までの日本 第2節 日本列島の誕生と大陸との交流 教p30~35

◎ 日本列島では、どのように国がつくられていったのだろう。

【学習前】 記入日 9月7日

たくさんの方が集まってきた。

疑問に思ったことや、わからない言葉等
いつの時代が国ができたのか。
国、村、は何か？
国は何か国なのか？

【学習後】 記入日 9月15日

中国から来た人々によって、人々は土地や水をめぐって争いが起こり
人々は集まってきた。争いを止めるために、争いを止めるためにAとBが
AがBもの、とって争った。争った結果、Aが勝利した。

学習前と後の内容を比べて
感じたことや思ったこと
村がどのようにできて、
そこから世帯に発展したのか
少しおもしろい。

<p>9月8日 タイトル 日対列島と縄文時代</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと 縄文時代の土器の土の中に 成土 → 縄文時代の土器 土器 → 縄文時代の土器</p>	<p>1月15日 タイトル 稲作がはじまってからの変化</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと 弥生土器 古銅器 稲作 上地物 稲作の跡 稲作の跡 稲作の跡</p>	<p>1月15日 タイトル 中国の歴史書を見る</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと 漢書、地理志 倭人が100回以上訪れている 後漢書、轉傳 みつておもしろいもの 金印 → 漢書#7 國名として使われている 新羅王の即位、新羅王の即位、新羅王の即位</p>
<p>9月15日 タイトル 大和政権の成立と東アジアとの交流</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと 大和政権の成立、後半にびびり、豪族の争い 大和政権の成立、後半にびびり、豪族の争い 大和政権の成立、後半にびびり、豪族の争い</p>	<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>	<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>
<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>	<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>	<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>

③

第2章 古代までの日本 第2節 日本列島の誕生と大陸との交流 教p30~35

④



◎ 日本列島では、どのように国がつくられていったのだろう。

【学習前】 記入日 9月 7日

	<p>疑問に思ったことや、わからない言葉等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国、マナビ? ・国、マツくられたの? ・列島、マナビ? ・日本と日本列島の違いは?
--	---

【学習後】 記入日 9月 15日

<ul style="list-style-type: none"> ・氷河時代、大陸と陸続きになって動物がきた。その動物を追って人々がきた。 ・氷河期が終わり、日本列島が現在の形に。 ・土で穴住居ができた。 ・弥生時代、稲作が始まり、米を貯える倉庫、米とたぐい稲生土器ができた。 ・稲作で土地や米のうばい合いがおこり、指導者が現れ、村が統一される。 ・大和政権(ヤマト)が中心とする勢力が強くなった。 ・天皇が出現した。→百濟、11にわ ・百濟から渡来人が果て、須恵器、漢字、儒学、仏教が伝わった。 ・漢字によって文字が書けるようになった。でき事が記録できるようになった。 	<p>学習前と後の内容を比べて 感じたことや思ったこと</p> <p>何も知らなくて、疑問に思ってたことばつた。たけど、少しはどのように国が作られたのかわかった。</p>
--	---

<p>9月 7日 タイトル 動物が来た!!</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと 水戸時代一海が泳いで大陸と陸続きになって ママモス、ナツメソウ、ネオツノシカが来て、イモリ!! この動物を連れて人々が移住した</p> 	<p>9月 8日 タイトル 稲作開始!!</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと B.C 400. 九州に稲作が移された。</p> 	<p>9月 14日 タイトル 中国の歴史を解説!!</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと 当時の日本一様 魏志倭人伝、百済が書かれていること。 倭の国や百済の身御門 對等には魏志倭人傳</p>
<p>9月 15日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと 漢人が活躍 須磨器、漢字、備前、私教、記録が残り 百項のころ</p>	<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>	<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>
<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>	<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>	<p>月 日 タイトル</p> <p>今回の授業で一番大切だと思うこと</p>



3年次の歴史（レポート）

大正デモクラシーは、戦後の民主主義につながるか？

*歴史的事項を入れて、まとめよう！

I	横田 大正デモクラシーは戦後の民主主義につながっていると思う。	I
II	「平民宰相」と呼ばれた原敬。憲法で規定した形の人選系統を打破した可能性がある。	II
III	1918年 新島襄の政治小説を引用して下野した。普通選挙制として旧体制を倒したという紹介。	III
IV	この一時期である。	IV
V	続いて20日、政治界の土野存彦が民権雑誌を創刊して、政治目的で民意の向上利益	V
VI	に際し一般市民の意向に沿って政策を決め、この時期には現在の国同士の関係と変わら	VI
VII	ず。しかし女性に対する男子優遇選挙を認めた。	VII
VIII	この間に東京女子大学が「女子権闘会」を創設。これは「女子は自家の最高機関」と定義	VIII
IX	しているが、結局実現は。あくまで国民(権)の象徴。と決めている点 成果は少ない。	IX
X	この他にも若くは天竺の法王様が今の国民であるという。	X
XI	間接的として初めて中央集権国家と対峙。戦前(ここでは第二次世界大戦)と戦後(現在)	XI
XII	の月日は同じように思えるが、元々の異なるという点がある。	XII
XIII	以上の観点から 大正デモクラシーは、戦後の民主主義につながっていると思う。	XIII
XIV		XIV
XV		XV
XVI		XVI
XVII		XVII
XVIII		XVIII

3年2組

19番氏名

①

AAA

大正デモクラシーは、戦後の民主主義につながるか？

*歴史的事項を入れて、まとめよう！

私は大正デモクラシーは、戦後民主主義につながると思う。
大きく理由が二つある。
まず、民主主義とは何か、明らかには、民主主義とは、簡単にいうと、
「物事はみんなの決める」と考え、それ「国のあり方を決める権利は
国民にある」ということ。これを民主制といふ。これは対義語は、独
裁制、「独裁制」ということだ。
で、本題に戻ろう。大正デモクラシーは戦後の民主主義につながる。
理由は理由は二つある。
①7月 1925年に成立した「普通選挙法」だ。
19歳以上の男子に選挙権を認めたため、有権者数は、4倍に増
加した。(総人口29.5%増)。資料11を参照。
②同年に制定した「治安維持法」だ。
治安維持法は、社会主義の取り締まりと、社会主義の国内浸
透を防ぐため、労働者は団結して争い、収入が見込めない
以上、理由から、普通選挙法で有権者の増え、治安維持法の民主
主義の反対の社会主義を取り締まったことだ。
大正デモクラシーは戦後の民主主義につながる。と見る。

3年2組

4番氏名

②

AAA

大正デモクラシーは、戦後の民主主義につながるか？

*歴史的事項を入れて、まとめよう！

立場：つながる

理由：大正デモクラシーと戦後の民主主義の政治体制が、国民の権利を保障し、自由を尊重する点で共通している。

中身の異なる民主主義として、大正デモクラシーは戦後の民主主義の基礎を築いた。

戦後の民主主義は、戦後のGHQの指導の下で導入された。大正デモクラシーと同様に、憲法改正の議論がなされた。

戦後の民主主義は、戦後のGHQの指導の下で導入された。大正デモクラシーと同様に、憲法改正の議論がなされた。

戦後の民主主義は、戦後のGHQの指導の下で導入された。大正デモクラシーと同様に、憲法改正の議論がなされた。

戦後の民主主義は、戦後のGHQの指導の下で導入された。大正デモクラシーと同様に、憲法改正の議論がなされた。

戦後の民主主義は、戦後のGHQの指導の下で導入された。大正デモクラシーと同様に、憲法改正の議論がなされた。

戦後の民主主義は、戦後のGHQの指導の下で導入された。大正デモクラシーと同様に、憲法改正の議論がなされた。

戦後の民主主義は、戦後のGHQの指導の下で導入された。大正デモクラシーと同様に、憲法改正の議論がなされた。

戦後の民主主義は、戦後のGHQの指導の下で導入された。大正デモクラシーと同様に、憲法改正の議論がなされた。

戦後の民主主義は、戦後のGHQの指導の下で導入された。大正デモクラシーと同様に、憲法改正の議論がなされた。

戦後の民主主義は、戦後のGHQの指導の下で導入された。大正デモクラシーと同様に、憲法改正の議論がなされた。

大正デモクラシーは、戦後の民主主義につながるか？

*歴史的事項を入れて、まとめよう！

大正デモクラシーは、戦後の民主主義につながっていると思う。
大戦景気で物価が上がったり、米騒動で米の値段が大幅に上がった時には、
原敬内閣に委ねたが、納税額は引き下げたものの民衆が求める普通選挙
は出来なかった。
でも、大正デモクラシーがあり、吉野作造によって「満25歳以上で3年以上
納税をしている男子」から、「満25歳以上の男子」に変わり、選挙に
参加できる人が増え世論が政治に反映され民衆が権力を握っていき
るようになったと思うので、 <u>大正デモクラシーは民主主義につながったと</u>
<u>思う。</u>

3年2組 | 番氏名 ④

ABF